



エネルギー・コミュニケーション 論分野

基本理念と方法

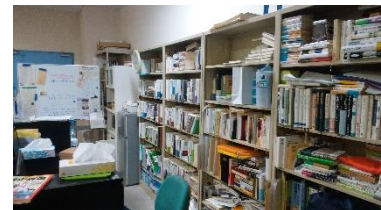
この分野(吉田研究室)では、エネルギー・環境問題に対して、主に「その問題を生み出す社会とはどのような社会なのか」「なぜ、どのようにそれが「問題」とされてきたか」というメタ的な視点からアプローチし、問題の多角的な理解や解決を目指します。

そのため分析に用いる方法は幅広く、研究対象の自然科学的な理解を前提として、社会理論の検討、統計解析、新聞・雑誌などの言説分析、当事者へのインタビューなどの社会科学的手法を組み合わせ問題に迫っていきます。

特徴

この分野は人間・環境学研究科との協力講座になっており、多様な研究対象・研究方法をもつメンバー(下記参照)との議論を通し、問題を多角的に捉えることができます。

また、他研究科や他大学の学生・教員も含めた読書会や研究会も複数行われており、自分の関心に合わせ自由に出席し、知識を深めることができます。



研究室概要

院生の研究テーマ(例)

リスク社会論
専門知識のコミュニケーション
映像・文化社会学
監視社会論
ネット右翼

etc.

進路

博士後期課程進学
日本商工会議所
東洋経済新報社
リクルートコミュニケーションズ
滋賀県竜王町他公務員

etc.

メンバー構成

教授: 吉田純
博士後期課程: 7名
修士課程: 11名
研究生: 3名